

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '上野沼やすらぎの里管理運営事業' and '観光の振興'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the management of the Ueno Lake area.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Shows performance metrics for '施設管理運営' and '観光の振興'.

Table with 7 columns: (3) 投入量 (事業費) の推移, 29年度 (実績), 30年度 (実績), 01年度 (計画), 02年度 (計画), 03年度 (計画), 期間限定総投入量. Shows financial and personnel input data.

Table with 4 columns: 30年度事業費 実績 (千円), 01年度事業費 予算 (千円), 02年度事業費 予算 (千円), 03年度事業費 予算 (千円). Lists various expense items like '報酬', '旅費', '需用費'.

Table with 4 columns: (4) 当該年度の実施内容, 01年度の事業内容, 02年度の事業内容, 03年度の事業内容. Includes implementation details and a list of main activities.

事務事業名	上野沼やすらぎの里管理運営事業	事務事業No.	40302000561	所属課	商工観光課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	自然環境性に富んだ上野沼湖畔で余暇を楽しんでもらうため、昭和62年に開始された。平成23年の震災時はかなり利用者が減少したが平成26年度からは震災以前の利用者数に回復した。また近年は施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えてきている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	施設が老朽化しているので、修繕等によりリニューアルしてほしい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	施設整備から30年が経ち施設全体が老朽化している。また施設内のトイレについてもまだ半数以上が和式のため、徐々に洋式化を図り、施設の老朽化についても継続的に修繕を行っている。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	上野沼やすらぎの里キャンプ場を利用する方々が快適に余暇を楽しみ、満足していただくために施設を管理する事業であるので市の政策体制に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	美しい自然環境の中にある上野沼やすらぎの里キャンプ場で、快適に余暇を楽しんでもらうための管理事業なので妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	パンフレット、ホームページ、SNS等を活用し、桜川筑西ICに近接する利便性の良さや、自然環境の美しさ、類似施設と比較しての利用料金の安さなどを県内外へPRして成果を向上させる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市の観光施設の中でも、多くの利用者がある施設のため廃止すると桜川市の観光客数に影響が有る。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名 現在統合できる可能性のある事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	現在も最低限の管理費や人件費で運営を行っているため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民または市民以外でも施設利用が可能であり、利用者は市条例によって定められた利用料を支払っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
<input checked="" type="checkbox"/> ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	上野沼やすらぎの里キャンプ場は北関東自動車道桜川筑西ICや国道50号に隣接した利便性に加え、四季を通して水辺の自然とふれあえる憩いの場である。H29はパンフレットをリニューアルし、利便性の良さや利用料金の安さなどをPRした。																				
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> </table>	コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
コスト																					
	削減	維持	増加																		
成果	向上	○																			
	維持			×																	
	低下			×																	
施設整備より30年経過しているため修繕箇所が増えており、修繕コストが掛かることが課題であるが、軽微なものであれば管理人が修繕を行いコストの軽減に努めている。	(6) 事務事業優先度評価結果																				
	成果優先度評価結果 ③																				
	コスト削減優先度評価結果																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>